

来日した中国の校長たちの つぶやき



あちこちで感じた
細かな心遣いは日本の高
いレベルの科学技術に支えら
れていると思います。空港で入っ
たトイレは、暖かな色の電気に照
らされ、掃除が行き届いて清潔で
した。そして、人を察知して温か
くなる便座と、ばつの悪さを
消してくれる水の流れる
音には驚きました。



ピーク時には
女性専用車両がで
きることを知って、子
どもだけでなく女性の
権利と安全も重視して
いることがわかり
ました。



今回は電車で
移動することが多
かったのでふだんの
生活を知ることが
できました。

努力することをい
とわない人たちに感心しま
した。なかでも感動したのはタク
シーの運転手です。私たちが乗ると
きにドアを開け、乗り込んだら閉めて
くれ、そのあと私たちの荷物をトランク
に入れてくれました。ずっと謙虚な態度
で、だるそうな様子は一切見せず、運
転も慎重でした。その様子は75歳に
は全く見えませんでした。すぐに
怠けてしまう自分が恥ずかし
くなりました。

訪問した和光国
際高校では中国国
旗を掲揚して歓迎し
てくれて、とても
嬉しかった。



いちばん感慨深
かったのは日本人の安
全意識です。例えば、耐震
性の高い校舎、女性専用車両。
そしてホテルのタンスの隅に置
かれた懐中電灯。日本人の安
全意識がこんな細かなところ
にも現われていると思
い感激しました。



您好!

〔事業データ〕

隣語教育に取り組む日中の校長交流プログラム（招聘）

期間：12/15（火）～20日（日）、場所：東京、主催：中国中等日本語課程設置校工作研究会、TJF、助成：漢語橋基金、（公財）東華教育文化交流財団、（公財）三菱UFJ国際財団、輸送協力：ANA、参加者：中等日本語課程設置校工作研究会のメンバー校の管理職19名
※12/19（土）に、日中校長交流会を実施した。

交流のハードルが下がった

東京都立青梅総合高等学校校長 北川英一

国際交流をすると生徒たちがポー
ンと壁を越えるように大きく変わる
ということを前任校の東京都立若葉
総合高校で目の当たりにしてしまし
た。例えば、海外から帰ってきて「将
来は海外でこういう仕事をしたいと
思っている」と言う生徒がかなりの割
合で出てくるのです。国際交流の力
を感じていたときに、TJFの日韓
校長プログラムのことを知って、自

分自身が経験してみようと思い参加
しました。

大田で訪れた外国語学校では生徒
たちが私たち一人ひとりについて学
校を案内してくれました。そのとき
に驚いたのは、韓国の高校生の勉強
量です。朝早くから夜10時まで学校
で勉強しているというのです。一方
で、教育改革で中学校に自由学期制
が導入されたそうです。これは、1
学期間を選んで、半日は教科の授業、
半日は自分の進路を考えるためにさ
まざまな生徒参加型活動を取り入れ
るというものです。背景には、詰め
込み教育の弊害や、自己肯定感の低

さなどがあるようです。かなり大き
な改革でも決まったらすぐに実行す
る国の方針には驚きました。
わずか4日間でしたが、学校現場
を訪問し、教育関連機関の人たちと
交流したことで、メディアから伝わっ
てくる反日感情ばかりではないこと
が体感できました。韓国との国際交
流のハードルはぐっと下がりました。



大田外国語学校で生徒に
案内してもらった北川校長。

안녕하세요!

〔事業データ〕

隣語教育に取り組む日韓の校長交流プログラム（派遣）

期間：8/11（火）～14（金）、場所：韓国・ソウル、大田市、主催：神奈川韓国総合教育院、東京韓国教育院、TJF、助成：東京韓国教育院、参加者：7名
※8/13（木）に、日韓校長・教師交流会を国際交流基金ソウル日本文化センターと共催した。

日本 常に見えてくること

中国で日本語教育を実施している高校の校長を日本に招聘するプログラム、
そして日本で韓国語教育を実施している高校の校長を韓国に派遣するプロ
ラムを実施しました。滞在中は、学校現場を訪れて、管理職や教師、生徒と
交流したり、日常生活の一部を体験してもらいました。

